

ヒラメ種苗生産 ～飼育日直～

ヒラメの種苗生産がスタートすると同時に、生物系列を選択した2,3年生の生徒たちによる休日飼育日直が始まります。期間は1月末～2月中旬の約1ヶ月間。生徒たちが最初に学ぶのは、孵化し、餌を食べるようになったヒラメたちの餌の管理。放流するまで健康に育てるためには、ヒラメの餌となる動物プランクトンを常に良好な状態に保つことが重要となります。そのため、生徒たちは顕微鏡を覗いて動物プランクトンの健康・増殖状況チェックをしたり、水槽を掃除したり・・・もちろん小さなヒラメの仔魚に必要な餌の量を計算し、動物プランクトンを給餌する大事な作業も行います。そして最後にヒラメの成長を観察して飼育日直終了です。

また授業でも、種苗生産に関することを学び、さらにヒラメの成長を顕微鏡を用いて観察し、スケッチ、観察記録や考察などをレポートにします。飼育日直と授業とを組み合わせによって、生徒たちはより種苗生産の知識と技術を、そして命の誕生や成長を通してその尊さを学んでいます。



写真1. 飼育日直にて動物プランクトンについて指導を受けている状況



写真2. 顕微鏡にて動物プランクトンの状態をチェック



写真3. 授業内でヒラメの観察(スケッチ)

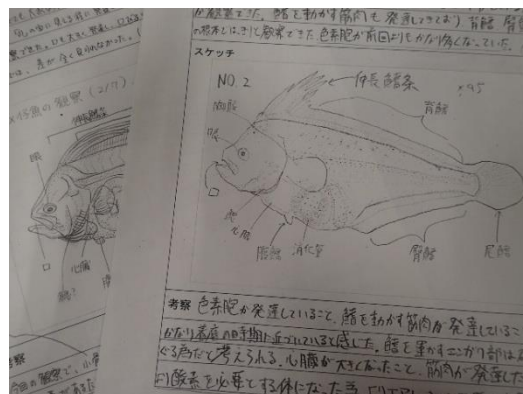


写真4. 生徒のヒラメレポート